

臥竜公園へようこそ

臥竜公園を100倍楽しむ散策マップ

◆さくら名所100選

◆日本の名松100選

◆長野の自然100選

◆信州の夕景色100選

臥竜公園は、“春は花、夏の木風まかぜに秋の紅葉、冬は渡りの冬鳥に雪景色”と四季を通して楽しめる市民憩いの公園です。

公園のサクラは「さくら名所100選」に、臥竜山の松林は「日本の名松100選」に選ばれ、動物園ではとっても近くで動物たちを見ることができます。

臥竜山中には、古墳や須田氏の古城跡、須坂藩ゆかりの観音堂や臥竜山百番観音、往時の文化を偲ぶ祠や碑など歴史を物語る史跡や文化財が点在しています。

健康づくりのウォーキングに、ゆっくりくつろいだ散歩に、時には気ままな逍遥しやうぼうに公園の不思議発見を楽しんでください。

須坂市臥竜公園管理事務所（須坂市動物園）
TEL 026-245-1770 FAX 026-248-1793
E-mail : suzakazoo@city.suzaka.nagano.jp

協力 / 須坂市立博物館

このパンフレットは5,000部印刷し、1部あたりの単価は約35円です（2021年3月）

臥竜公園の設計

明治・大正期の須坂町は、製糸業が発達し県下有数の製糸の町として活気にあふれていました。

大正14年5月、須坂町々長となった松下金六は、製糸工場で働く工女や職工さんたちを始め町民の健康増進を願い、公園設計を林学博士本多静六東京農科大学（現東大農学部）教授に委嘱しました。そして、大正15年4月より博士の現地調査が行なわれ、同年5月に「須坂町公園設計書」が完成し報告されました。

この「須坂町公園設計書」は、「臥竜山公園」「鎌田山公園」「南原河沿公園」の三つの公園構想をもつ遠大な設計書でした。それは、今日にみる「臥竜公園」「鎌田山遊歩道」「百々川河川敷緑地公園」となって、博士の理念が受け継がれています。

本多静六は新1万円札の肖像画の渋沢栄一と交友がありました。

臥竜山百番観音

興国寺二十世瑞応麟祥和尚の発願で、牧七郎右衛門等この趣旨に賛同した人々によって建立されました。

天明年間（1781～88年）に須坂藩上町の桶屋平左衛門が西国・坂東・秩父の札所を巡礼し、その霊場の土を小瓶に入れて持ち帰り、臥竜山中に札所を比定し、その土を埋め石碑を建てたのが、臥竜山百番観音であると伝えられています。この臥竜山観音霊場を一巡すると、西国・坂東・秩父巡礼と同じ功德を得られるといわれています。観音碑は下図のように西国、阪東、秩父と様式が統一されています。西国の一は城鼻にあり、坂東の一は松尾口、秩父の一は旧伊香保温泉裏よりスタートするようになっています。



〈西国十六番 十一面千手千眼観世音〉
西国の碑は、頭部に一重縁光背、蓮の台座の下に、雲が描かれています。



〈秩父五番 准胝観世音〉
秩父の碑は、頭部に二重縁光背で統一



〈坂東五番 十一面観世音〉
坂東の碑は、背後に舟形光背で統一

こうあと 壕跡

昭和19年、戦況は本土決戦の決意を決定し、大本營の松代移転が準備されていきました。時を同じくして重要軍需品防衛分散のため、東京陸軍兵器補給廠の須坂基地設営がすすめられました。

この為に臥竜山々腹を掘削したあとが悲話として語られる臥竜山の壕跡です。現在は危険防止のため埋めもどされ往時のよすがを知る方も少なくなりました。（×で示した地点）

根あがりねじれ松

根が地表にせりあがり、樹幹がねじれて成長していった老松が、北峰より南東に伸びる稜線にそって多く確認されています。ねじれは何らかの事由による成長の不均衡によって生じたもので、根あがりとは地下がたたく且つ土表が雨水に洗い流されることによってできたのではないかと解されています。平成元年市の文化財（天然記念物）に指定されました。

臥竜山観音堂

享保3年（1718）に須坂藩第四代藩主堀直佑が聖観音像を寄進し創建されました。直佑が寄進した本尊は現在所在不明となっています。観音堂は当初懸崖造りのものでしたが、長い年月の風雪、老朽や失火などにより再三再建されてきました。

縁日は毎年4月17日。祭りの当日は、現在の本尊である高村光雲作の観世音菩薩像を祀って祭りが行なわれます。



臥竜山中の句碑・歌碑・記念碑・頌徳碑

- 1 月見塚 臥竜山々頂
『雲折り折り人を休める月見か那 はせを』
碑陰 明治二十七年 桜の庵芳谷建立
- 2 臥竜山々頂 北
『咲けば散る浮世ながらも初ざく良 芳谷』
碑陰 明治三十九年弥生 有志連 田中禾秀・駒津竜美・吉越春夫・丸山梅笠・小出晴光・土屋墨山・羽生田玄司
- 3 臥竜山々頂 南
『囀りや三太刀七太刀剣の舞 青邨』
碑陰 昭和五十三年建立 山口青邨先生来遊の地
- 4 臥竜山昇竜坂
『田植うるは土にすがれるすがたせり 純夫』
碑陰 昭和二十七年十一月十一日
- 5 臥竜山昇竜坂 越寿三郎顕彰碑の短歌
『ひとすじに郷土の栄え的として けわし山坂風雨に耐へて』
碑陰 昭和五十一年四月 越寿三郎翁顕彰会 建立 代表 井出郡治、発起人 協賛者連記（略）
- 6 臥竜山 管鮑の歌碑
『掃きよせて焚けば素直にけむるなり 松の落葉も萩の枯れ葉も 篤』
『冬来ると清らに瘦せてあけくれる 何もなきわが思惟の山川 信太郎』
碑陰 昭和五十八年十月 白夜短歌会有志連
- 7 竜ヶ池臥竜滝南 竜ヶ池開拓記念碑 竜ヶ池開池の経緯が記されています
枢密顧問官正三位勲一等法学博士原嘉道題額 衆議院議員 須坂町長 田中邦治 撰 衆議院議員 北原癡山書
- 8 昇竜坂満州珠山開拓慰霊碑
満蒙開拓珠山上高井開拓団の殉難者の霊を慰さめ、世界平和を願う碑 昭和三十七年十一月十八日建立
- 9 北峯あすまや北 文王の絵像碑 孔子が最も尊敬したといわれる 周の聖人文王の絵像を刻んだ碑
唐の顔暉（暉の有名な宮廷仏画師）が描いた文王画を興国寺瑞応和尚が写し、百番観音の勧請を支えた須坂藩家老駒沢清泉が碑陰を識している。昭和三年丙戌（1766）三月中浣日建立

臥竜公園のサクラ

根あがりねじれ松

臥竜公園散策MAP

ウォーキング(散策)モデルコース

わいわいファミリーコース

全長 2040m 所要時間 約60分
 昇竜口 → 昇竜坂 → 観音橋 → 松尾社 → 山頂
 やわらかく幅広い比較的ならかなファミリー向き往復コース。山頂まで続く尾根を登ると360°の絶景が楽しめます。
 (消費カロリー: 約160kcal)

ぐるっと一周コース

全長 1570m 所要時間 約70分
 昇竜口 → 山頂 → 松尾社 → 観音橋 → 須田城跡 → 城山口
 勾配の急な坂道から始まり一気に山頂へ。根あがりねじれ松の尾根を下り観音橋へ。観音堂、須田城跡など臥竜山をほぼ一周するコース。
 (消費カロリー: 約120kcal)
 ※北口から登るコースもあります。

のんびりロマンチックコース

全長 950m 所要時間 約40分
 昇竜口 → 昇竜坂 → 観音橋 → 観音堂 → 須田城跡 → 城山口
 観音堂へ続くゆるやかな小道を通り須田城跡へ。そこから西の尾根の下り道は北信五岳、北アルプスを展望し、夕方にはロマンチックなサンセットポイントです。
 (消費カロリー: 約75kcal)

凡例

- 百番観音 ○ 西国
- 坂東 □
- 秩父 △
- 古墳 ▲
- 史跡・記念碑など ●
- 句碑・歌碑 ①~⑨
- 壕跡 ×



竜ヶ池

《面積》	2.4ha
《周囲》	約800m
《竣工》	昭和6年7月
《拡張》	昭和7年~8年
《池止水》	昭和19年 畑化
《復旧工事》	昭和23年~24年
《復旧開池式》	昭和24年5月
《池堤の桜補植栽》	昭和31年

臥竜山

《高さ》	北峰 海拔 471.5m
《面積》	153,040m ²
《周囲》	約2,500m
《施設》	遊歩道 3,768.2m

- ### 名勝 臥竜公園
- さくら名所100選
平成2年4月6日 財団法人日本さくらの会 選定
 - 日本の名松100選
(21世紀に引き継ぎたい日本の名松100選)
昭和58年5月18日 社団法人日本の松の緑を守る会 選定
 - 長野の自然100選
昭和62年11月24日 朝日新聞社、長野県、テレビ信州、財団法人森林文化協会 認定
 - 信州の夕景色100選(サンセットポイント)
平成11年10月 長野県選定(認定)

